

委託業務成果報告書

令和 5 年 5 月 26 日

支出負担行為担当官

文部科学省高等教育局長 池田 貴城 殿

(受託者) 住 所 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
名称及び 国立大学法人 電気通信大学
代表者名 契約責任者
理事 三浦 和幸

令和 4 年 10 月 18 日付け令和 4 年度《教科「情報」を含むアイテムバンク式 CBT による大学入試の試み》に関する成果の報告書を委託契約書第 18 条の規定により、別添のとおり提出いたします。

無断複製等禁止の標記について

委託業務に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文部科学省の大学入学者選抜改革推進委託費による委託業務として、国立大学法人電気通信大学が実施した令和4年度《教科「情報」を含むアイテムバンク式 CBT による大学入試の試み》の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

③ システム準備

1) アイテムバンクシステム開発

TAO と連携して動作するアイテムバンクシステムを設計・開発した。

2) CBT システム改修

プログラミング PCI の不具合改修を行なった。

3) サーバ構築

アイテムバンクシステムと TAO システムを運用するサーバを調達し、設定作業を行なった。

4) 仮フィードバックシステム開発

試験結果を受験者にフィードバックする簡易システムを開発した。

④ 実施準備

1) 実施マニュアル作成

CBT 試験実施に向けたマニュアルを作成した。

2) 数学・物理のデータ収集準備

項目特性推定のために 2023 年 4 月に学内の新入生に試験を実施してデータを収集する。これに向けて学内の関係部署との調整・準備を行なった。

3) 非認知テストのデータ収集準備

非認知テストも 2023 年 4 月に学内の新入生に実施してデータ収集を行うため、これに向けた調整・準備を進めた。

⑤ 学生アンケートの実施

本学合格者に CBT 実施に関するアンケートを実施した。

対象者は 60 名（内訳：総合型選抜 11 名、学校推薦型選抜 49 名）であり、

ほとんどの受検者が CBT 入試に対して好意的であった。

⑥ 外部評価委員会の開催

2022 年 12 月に外部評価委員を開催し、意見収集を行なった。

⑦ 全体会議の開催

2023 年 2 月に電気通信大学内の全体会議を実施し、IRT パラメータ推定のために 2023 年 4 月に実施する本学新入生を対象とした CBT 実施の準備状況（作問状況、システムの準備状況、実施会場の準備と運営マニュアル）について報告がなされ、今後の課題について意見交換がなされた。課題として、取得したデータの利活用に関して学生から同意を取る必要があること、本 CBT 試験を大学として認証し、学生に周知する必要があることなどが指摘され、対応をしていくことが確認された。

⑧ 情報処理学会全国大会における情報収集

2023 年 3 月に開催された情報処理学会第 85 回全国大会のセッション「どうする情報科教育！～情報 I, II, 高大接続から考える～」において、電気通信大学での CBT に関するアンケート結果（2023 年度入学予定者に対する⑤のアンケートの一部）を示しつつ、高校現場で CBT に対する嫌悪感などがあるかを聞いた。教員からは、既に CBT でテストを行っている部分もあり生徒は慣れているのであまり問題はないよさだという意見があった。ただし、回答が分からなくても全て 2 を選ぶ、のような安易な回答をする例もあり、じっくり考える問題に対してなじまない部分があるという意見も出た。